

定住自立圏形成協定を締結しました

政策課政策企画担当 ☎23 2 1 2 9

十月六日、大崎定住自立圏を形成するため、祥雲閣で本市と色麻町、加美町、涌谷町、美里町がそれぞれ「大崎定住自立圏形成協定」を締結しました。定住自立圏とは、人口減少や少子高齢化が進む中、圏域全体の活性化と地域の人たちが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、近隣の自治体同士が連携・協力して医療や交通網などの生活機能を整えた生活圏のことです。今後は、具体的な取り組みについて「定住自立圏共生ビジョン」を策定します。

- ◆定住自立圏形成協定
 - 定住自立圏の中心となる中心市と周辺市町村が圏域全体の活性化を目指し「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の三分野で、連携・協力する取り組みについて一対一の協定を締結します。
- ◆各分野での連携
 - 定住自立圏の形成で、次のような連携が期待されます。
 - ①生活機能の強化
 - 大崎市民病院を中心とした圏域内の医療機能の整備
 - 産業振興
 - 観光イベントの共同実施と地域の魅力や情報の発信
 - 教育
 - 大崎市図書館を整備し、圏域内のいずれの公立図書館でも貸出利用ができる環境の整備、圏域内の住民を対象にした各種講座や教室などの開催
 - 施設利用
 - スポーツ施設や社会教育施設の市民以外が使用した場合の利用料金加算の廃止と相互利用の推進
 - 消費生活
 - 圏域内の住民を対象にした消費生活法律相談の実施、消費生活相談員と担当職員の情報交換や研修
 - ②ネットワークの強化
 - 地域の交通
 - 市民病院移転建て替えに伴う交通アクセスの整備、公共交通の課題の協議や検討



- ◆ICT（情報通信技術）
 - 電子申請システムの整備、電算システムの共同利用などは有効活用に向けての研究会の開催、光ケーブルなどのインフラの整備
- ◆交流、移住
 - 移住支援のための情報共有と発信、圏域でのグリーンツーリズムの推進、結婚を希望する人への出会いの場の提供
- ◆圏域マネジメント能力の強化
 - 人材育成
 - 圏域内の人事交流・研修

秋の火災予防運動

防災安全課消防担当 ☎23 5 1 4 4

- 秋の全国火災予防運動が、十一月九日から十五日の期間に実施されます。
- 十月十九日現在、大崎市全体の火災発生件数は五十五件と、昨年同時期と比較して四件減少しています。
- 秋から冬にかけては空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期になりますので、火災の予防を心がけましょう。
- ◎寝たばこをしない
- ◎住宅火災のちを守る七つのポイント
- ◎ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ◎ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を止める
- ◎逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ◎寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用する
- ◎火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する
- ◎お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

「家庭の灯 絶やさぬための 火の始末」
 平成 22 年度大崎地域広域行政事務組合
 防火標語コンクール最優秀作品
 古川黎明中学校 松本 美砂さん



予防接種

インフルエンザ予防接種・肺炎球菌予防接種費用の助成

健康推進課 ☎23 5 3 1 1

インフルエンザ予防接種

流行が予想されるインフルエンザの予防接種費用を助成します。

- ◆助成対象
 - ①生活保護世帯の人、市民税非課税世帯の人
 - ②①以外の世帯で六十五歳以上の人（六十歳から六十四歳の内部機能障害の人を含む）
- ◆接種期間
 - 平成二十三年三月三十一日まで
- ◆助成内容
 - 助成対象①の人が市の指定医療機関で接種する場合、本人負担額なし。助成対象②の人が市の指定医療機関で接種する場合、本人負担額二千元。

肺炎球菌予防接種

肺炎球菌の予防接種費用を助成します。

- ◆助成対象
 - 七十五歳以上の人（五年以内に接種した人は除く）
- ◆接種期間
 - 平成二十三年三月三十一日まで
- ◆助成内容
 - 市の指定医療機関で接種する場合、本人負担が三千元軽減されます。

地デジ

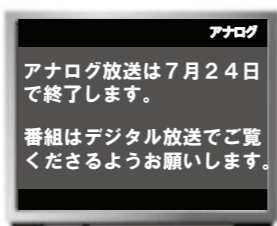
地デジは平成二十三年七月一日まで準備を！

市政情報課情報システム係 ☎23 5 0 9 1
 デジサポ宮城 ☎0 2 2 7 4 5 1 5 0 0

テレビ放送は、平成二十三年七月二十四日に「アナログ」から「デジタル」に切り替わり、従来のままのアナログテレビでは地上デジタルテレビ放送（以下地デジ）を見る事ができなくなります。多くの人は「平成二十三年の七月二十三日までに地デジが見られるように準備すればよい」と考えていると思いますが、実際には地デジに切り替わる直前までアナログテレビで番組が見られるわけではありません。

デジサポ宮城（宮城県テレビ受信者支援センター）によると、急にテレビが映らなくなると、皆さんが混乱するのを防ぐため、平成二十三年七月一日から、アナログ放送は最終段階となり、告知だけの放送になる予定です（下図参照）。早めに地デジの準備を進めましょう。

地デジに不安を感じている人や疑問を解消したい人は、デジサポ宮城までご相談ください。



イメージ3



通常番組全面にお知らせが表示

イメージ2



デジタル放送への対応のお知らせが繰り返される

イメージ1



お知らせの字幕だけ

インフルエンザを予防するために

インフルエンザを予防するため、次のことを行きましょう。

- ①うがい、手洗いを励行しましょう。
- ②外出する場合は人ごみを避け、外出時にはマスクを利用しましょう。
- ③十分な休養とバランスのよい食事をとりましょう。
- ④せきエチケットを心がけましょう。